

Ⅰ (計九十点)

(1) 【解答例】

- ① 「訪ねた」 ② 「記憶」 ③ 「たよる」 ④ 「暑い」  
⑤ 「閉じこもり」 ⑥ 「練習」 ⑦ 「苦のなく」 ⑧ 「あつかえる」  
⑨ 「ほめた」 ⑩ 「拍手」 (2×10＝20点)

(2) 【解答例】 品詞名「形容動詞」 意味「例 はっきりしない」  
(2×2＝4点)

【出題意図】 品詞の種別を捉え、文脈上の意味を問うている。

(3) 【解答例】 「思う」 (2×2＝4点)

【出題意図】 修飾語の係り受けの理解を問うている。

(4) 【解答例】 「目」 (4点)

【出題意図】 慣用句の知識を問うている。

(5) 【解答例】 「②」 (4点)

【出題意図】 文脈を捉えた上での接続詞の働きを問うている。

(6) 【解答例】 「遊びにも出」 「没頭した」 (6点)

【出題意図】 文脈を捉え、筆者の意図を読み取る力を問うている。

(7) 【解答例】 「母の努力」 (6点)

【出題意図】 筆者の論理を捉える力を問うている。

(8) 【解答例】 「面映ゆいような気持ち」 (6点)

【出題意図】 筆者の論理を捉える力を問うている。

(8) 【解答例】 「窓から差し込んだ光の眩しさ」 (6点)

【出題意図】 筆者の論理を捉える力を問うている。

(9) 【解答例】 「光景」

【出題意図】筆者の論理を捉える力を問うている。(4点)

(10) 【解答例】

「例 私が、かつては母も一人の若き女性であったことに改めて気付かされた。」

【出題意図】文章の内容を正確に読み取る力を問うている。(6点)

(11) 【解答例】

「例 通学路に赤い屋根の家がある。そこのおばあちゃんは、いつも私に挨拶してくれる。最近、姿を見掛けないので、今朝も心配しながら歩いていると、なつかしい挨拶が聞こえた。私はその声に励まされて元氣をもらっている。」(20点)

【出題意図】筆者の論理を把握し、自分なりに表現できる力を問うている。

【二】 【解答例】(計十点)

(1) 「イ」 (2) 「エ」 (3) 「ウ」 (4) 「イ」

(5) 「ウ」 (4×5＝10点)

【出題意図】義務教育段階で学習する基本的な文学作品に関する知識を問うている。